

「ふ」だんの「く」らしを「し」あわせに。

福祉くるべ



特集「人がつながる種をまく」

2023
02
February

小物づくり教室

きらきら☆いしだっこ

食料支援のしくみづくり

〔編集・発行〕 社会福祉法人 黒部市社会福祉協議会 令和5年2月1日発行

この広報誌は一部共同募金の助成金により発行されています。

新型コロナウイルス感染症の県内での発生状況で、イベントの中止や休館となることがございますので、ご了承ください。自宅での検温、来館時にはマスクの着用をお願いいたします。

2023
2

介護予防のための

元気はつらつ体操教室

黒部市福祉センター
TEL.(0765)54-1082

★新規参加者随時受付中

日	月	火	水	木	金	土
29	30	31	1 健康体操	2 アロマ・ヨガ	3 体操	4
5	6	7 音楽療法	8 自力整体	9 自力整体	10 アロマ・ヨガ	11 建国記念の日
12	13	14 自力整体	15 アロマ・ヨガ	16 脳トレ	17 自力整体	18
19	20	21 アロマ・ヨガ	22 音楽療法	23 天皇誕生日	24	25
26	27	28	3/1 自力整体	2 体力測定 体操	3 体力測定 体操	4

健康体操

樋口 瞬 先生

アロマ・ヨガ

村田 あゆみ 先生

音楽療法

岡島 聡子 先生

自力整体

稲田 清美 先生

脳トレ

くろべ 脳トレクラブ

体力測定 / 体操

小森 亜希子 先生

は休館日

時間/10:00~11:00

対象/65歳以上の方

参加費/300円(入館料のみ)

★令和4年4月より、生き生き倶楽部の予定は広報くろべにて掲載しております。

消防の
豆
知識

火災の発生しやすい 時期です!

人口1万人当たりの出火件数を示す「出火率」で、富山県は2021年の結果が31年連続で全国1位の低さ(1.60)となりました。

【建物火災の火災原因(上位)】

①「こんろ」②「たばこ」③「ストーブ」

【火災の多い月(上位)】

①2月②4月③1月④3月⑤12月

冬に劣らず春先に火災が多いのは、空気の乾燥に加え1年の中でも特に風の強い季節だからです。火の取り扱いには十分注意してください。



今月の表紙

スーツケースを持って駅のホームで電車を待つ女性。同じ場所に留まるだけではなく、いろんな所に出向いたり身を置いたりした方がより多くの出会いと気づきが生まれます。時には、風の吹くままに旅をするのもいいですね。

福祉・ボランティアに関することは

社会福祉法人 黒部市社会福祉協議会

<http://www.kurobesw.com/>



本所 黒部市福祉センター内

〒938-0022 黒部市金屋464-1 TEL.(0765)54-1082(代表) FAX.(0765)52-2797
TEL.(0765)57-1089(ケアセンター・ホームヘルプセンター) Eメール kurobesw@ma.mrr.jp

宇奈月支所・黒部市東部地域包括支援センター 黒部市ふれあい福祉センター内
〒938-0862 黒部市宇奈月町浦山2111 TEL.(0765)65-1165 FAX.(0765)65-9533
Eメール tobu-houkatsu@kurobesw.jp

私たちは5GOALS for 黒部を推進しています



ちよこっと情報 [黒部市の人口] 40,072人 [65歳以上の人口] 12,876人 高齢化率 32.1% R4.12.31 現在



2018年から始まった「黒部でつながるマルシェ くらまる」(以下、くらまるという)。市内外から出店者が集まり、毎回開催場所を移動することで、人や場所や作品との出会いが多く生まれています。今回は、くらまる実行委員会の井口香織(いぐち かおり)さん(36歳)と松島春佳(まつしま はるか)さん(37歳)からお話を伺います。

豊かな自然に魅せられて

井口さんは、中学校に入学するときに埼玉県から黒部に引っ越してきました。「父方の実家が生地にあつたので、小学校の夏休みや冬休みには黒部で遊んでいました。水やごはんがおいしい、景色に救われたこともあって楽しく過ごしてきましたね」と話します。現在は自宅のある生地地区でハーブを育て、ハーブを中心に「人と自然をつなぐ」をコンセプトに「ゆもあ」を立ち上げて活動中です。自然と一緒に過ごすことの楽しさや気持ちよさを感じてもらい、そこから自然を守っていく気持ちにつながるような空間と時間を提供しています。

のんびりとした時間の中で生まれる出会い

2018年に市内で起業している女性が集まり、「黒部でもマルシェをやってみよう」という話になりました。そして、「せっかくなら黒部のいろんな場所で開催したい」と思っていた井口さんから移動するマルシェが提案され、これまでに年4回ほど不定期で開催しています。松島さんは、「開催場所を固定した方がお客様も集めやすいし、みなさんもわかりやすいけど、あえて移動して黒部でお気に入りの場所や物や人に出会うきっかけができたらいなと思っていました」と話します。



お菓子を販売する松島さん(右)



松島さん(左)と井口さん(右)

松島さんは高校を卒業し就職するときに神奈川県から引っ越してきました。「親の実家が黒部でよく遊びに来ていました。家の縁側で田んぼを眺めるのが新鮮で、就職するときものんびりと暮らしたいなと思って黒部を選びました」と話します。現在は荻生地区で乳・卵を使わないお菓子を提供する「Smile labo.」(スマイルラボ)を営んでいます。「お店で働いていたときにお客様が『乳と卵のアレルギー対応してもらえないケーキ屋さんってどこにあるんだろう?』と切実に言われた言葉がずっと気になり、家で試みに乳と卵を使わないでケーキを作ってみました。そしたらスポンジが作れなくて、もっと研究するには自分の工房が必要だと思って起業しました」と話し、今でもレシピを作り続けています。

愛本地区にある「農村文化伝承館 山本家」で開催したときは、市外の人にも山本家を知ってもらうことができました。「空間そのものは素敵だけど、きっかけがないと普段は行かない場所が黒部にはあると思います。例えば、子どもたちが学校の授業で見学に行くことはあっても、親御さんは行かれたことがなかったりその場所を知らなかったりします。そういう場所に家族で訪れて自然の豊かさを感じ素敵な景色を眺めると喜んでいただけるかなと思います。私たちがマルシェを開催することで、こういう場所があると知ってもらえるし、歴史がある場所ならその歴史に触れてもらうのも良いと思います」と松島さん。また、井口さんは「開催するたびに訪れる人や出店者、天気も違う中で、そのと

活動レポート | 11月9日(水)黒部市民会館

食料支援のしくみづくり ワークショップ第3弾
具体的な実施計画を作り、12月の実証へ

7月と9月に引き続き、食料支援のしくみづくりを考えるワークショップを開催し、前回までのアイデアを実践につながる計画を立てました。これまでにフードドライブを実施した企業や団体からは、「自分たちも何か役に立ちたいと思っているので食料支援を続けていきたい。一定数の食料を常時保管できて、欲しい時に身近な場所でもらえるようになることがゴールだと思う」と意見が出ました。また、野菜の収穫時期を把握するデータベースの作成も始まりました。

講師の市川博之さんは、「受け手の方々がどんな仕事をしているのか、子どもたちはどんな休日を過ごしているのかなど、生活を知ることによって必要としている食料が想像できる」と話されました。



今後やることをまとめる作業



食品配布会の準備 (12月 黒部市福祉センター)

つながる喜びと
黒部の良さを伝える場所へ

きになかない空間ができるのがおもしろいですね。地域の人も助けていたで嬉しいう持ちになり「と話します。のんびりとした雰囲気、出店者同士で情報交換ができたお客さんとゆつくり会話をしたり、その空間を楽しんでもらうことを大切にしています。」

出店者のお子さん同士も知り合いになって、のびのびと遊びながらマルシェに参加しています。その中でたくさんの人に出会い、いろいろなつながりができていくおもしろさを感じ、子どもたちにとっても良い時間になっています。また、井口さんと松島さんのお子さんたちがマルシェを手伝ってくれることもあり、「子ども同士で売り買いのやり取りをしている姿は、私たちも見ていて楽しいですね。地域の方々からも『頑張っているね』と声をかけていただいているみなさんに見守っていただきながらできています。張り切って頑張ってくれているので成長したなと感心しています。小さい規模で継続して開催すると、それぞれの地域やそこにいる方たちの雰囲気や溶け込みやすく、地域の方々と一緒に作り上げる形ができています。これはずっと続いていくことで、子どもたちの頭に



ぶどうジャムなどを販売する
BOSSA FARMさん

開催場所:北洋の館



竹で作った楽器を演奏する
バンブーセイブジアーさん

開催場所:農村文化伝承館 山本家



手帳カバーを販売する
toco yaさん

開催場所:北洋の館

みんなで福祉的な食料をつなぐ
WAWAWAネットワークの
しくみを考えようワークショップ第4弾

2月16日(木) 13:30~16:30

黒部市国際文化センター コラーレマルチホール

これまでの取り組み

昨年7月から始まった福祉的食料支援のしくみ開発に向けて、行政担当職員、福祉団体職員、企業関係者、ボランティア関係者、幅広い分野の方々やフードバンク、フードドライブ、フードパントリーなどのしくみの一元化、ソーシャルフードネットワーク(通称:WAWAWA(輪・笑・和)ネットワーク)の構築に向けて、これまで3回のワークショップと2回のプレ実証に取り組んできました。

申し込み方法 電話または右記のQRコードよりお申込みください。

申し込み 黒部市社会福祉協議会 TEL.(0765)54-1082 FAX.(0765)52-2797
問い合わせ または、一般社団法人SMARTふくしラボ TEL.090-5754-3888

※この事業は(一財)トヨタ・モビリティ基金からの助成金を受け(一社)SMARTふくしラボが行っています。

お申込みはこちら



持続可能なしくみをつくるために

今年度最後となる今回は、これまでWAWAWAネットワークとして取り組んできた全てを整理し、次年度からどのように継続していくべきか、どうしたら持続可能なしくみにしていけるかについてを話し合うためのワークショップとなります。食と人がつながることで、人と人がつながり、様々な社会課題解決につながると考えます。是非多くの方々のご参加をお待ちしております。

くろまるの情報を発信しています!



HP



Facebook



Instagram



ちよつとでも残って大きくなったときにまた何かにつながっていくと嬉しいですね」と井口さん。商品を購入して終わりではなく、黒部の魅力ある場所をいろいろと見てもらいながら、人と人がつながる喜びを体感できる場所を増やしていきたいとお二人は考えています。私たちも市内の名所やお店などに立ち寄ってみると、今まで知らなかった黒部の良さに気づくことができるかもしれません。これからも、お気に入りのもので見つけるマルシェ、「黒部に住んでいたらくろまるがあつて楽しい」と感じてもらえるマルシェ、黒部の良さを伝えるマルシェとしてくろまるの取り組みは続きます。

黒部市福祉センターのお知らせ

休憩時間/9:30~16:00 入浴/10:30~15:30
※休憩時間、入浴時間が短縮になっております。

新型コロナウイルス感染症の県内での発生状況で、イベントの中止や休館となることがございますので、ご了承ください。

2月

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、2月は演芸、ステージ発表をいたしません。

休館日 毎週月曜日(6日・13日・20日・27日)
祝日の翌日のため12日・24日は休館日です。

3月

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、3月は演芸、ステージ発表をいたしません。

休館日 毎週月曜日(6日・13日・20日・27日)
祝日の翌日のため22日は休館日です。

催し物と休館日のご案内

お知らせ

小物づくり教室

ミニ色紙の兜(かぶと)の押絵



日時 令和5年3月6日(月)13:30~15:30

場所 黒部市福祉センター 大広間

講師 高島真実子氏

定員 15名

参加費 500円 ※入館料込み

持ち物 ハサミ・濡れタオル

申込み期間 2月1日(水)~2月20日(月)

申込・ 黒部市社会福祉協議会
お問合せ TEL.(0765)54-1082

今月の相談日

弁護士と法律相談

■黒部市福祉センター(金屋464-1)
2月21日(火) 13:30~15:30 / 予約受付2月1日より※先着4名
相談内容問わず、年度につき
1人3回までのご利用とさせていただきます。

富山県東部生活自立支援センター 生活自立支援相談

■黒部市福祉センター(金屋464-1)
2月13日(月) 10:00~11:30 / 予約受付2月1日より

新型コロナウイルス感染症の県内での発生状況で、相談員の変更や中止となることがございますので、ご了承ください。

今月のクラブ

ポールウォーキング

金曜日(10日・24日) 13:30~15:00
場所:石田交流プラザ(現地集合)

囲碁・将棋クラブ、元気カラオケクラブにつきましては新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、2月は開催を中止とさせていただきます。



誕生日のお祝いに福祉センターの入浴券はいかがですか?
11枚綴り・・・3,000円

笑顔が輝く子育てサロン

昨年7月から始まった子育てサロン「きらきら☆いしだっこ」。子育て世代の方々にも公民館を気軽に利用してもらいたい。そして、ママ同士が交流し、ほっとできる時間を過ごしてもらいたいという思いからスタートしました。ベビーマッサージや季節の行事などの企画や子育ての悩みを相談できる場を提供し、参加した保護者や祖父母の方々からも喜ばれています。

絵本やおもちゃもたくさんあるので、子どもたちもお気に入りが見つかるはず。一緒に楽しい時間を過ごしませんか。



きらきら☆いしだっこ

活動場所:石田交流プラザ 第2会議室(住所:黒部市岡165-1)
活動日:毎月第3火曜日 午前10時~11時30分(令和5年度は未定)
問合せ先:TEL.(0765)54-1301

実は黒部で、 こんな事 やっています!

Vol.25



クリスマス会でおやつ取りゲーム



活動レポート | 12月9日(金)浦山交流センター

高校生の力を借りて、スマホの謎を解決!

浦山地区の高齢者の方々が桜井高校生活環境科の生徒からスマートフォンの使い方を教わりました。電話番号の登録やLINEの使い方など、今までわからなかったことが解決され、「家に帰ってから復習しようと思う」と話す方もいました。また、カメラのピントの当て方を教わり、高校生がモデルになって実際に写真を撮っている方もいました。生徒からは「自分たちの知っていることや経験を活かすことができよかったです。喜んでいただけました」と感想が述べられました。

浦山地区と桜井高校は夏にもオンラインで交流しており、今回はさらに親睦を深めることができました。



複数の生徒で操作方法をお手伝い